

平成26年 第2回 臨時

摂津市教育委員会会議録

開催日時 平成26年7月31日(水) 午後2時00分開会
午後3時54分閉会

開催場所 摂津市役所 新館7階 講堂

付議事件

議案番号	件名	審議結果
49	「平成27年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書、平成27年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件」	承認

出席者

委員長	大矢優子	次世代育成部次長	
委員長職務代理者	福元実	兼教育センター長	若狭孝太郎
委員	齊藤公男	総務課長	溝口哲也
委員	山手知栄子	総務課長代理	鈴木誠
委員	箸尾谷知也	総務課主査	池田智子
		教育支援課主査	田中 大介
教育総務部長	山本和憲		
次世代育成部長	登阪弘		
生涯学習部長	宮部善隆		

委員長

ただいまより、平成26年第2回教育委員会臨時会を開催いたします。本日の署名委員は齊藤委員ですので、よろしくお願い致します。

本日の付議事件は1件です。

それでは、議案第49号「平成27年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書、平成27年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件」について、次世代育成部次長お願い致します。

次世代育成部次長
兼教育センター長

議案第49号「平成27年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書、平成27年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件」についてご説明申し上げご審議いただくものです。

【以下、議案書により説明】

委員長

それでは審議に入るにあたり、私から本議案に関する今日までの教育委員会としての活動の経過を説明させていただきます。

教育委員会は、平成26年4月11日付け文部科学省初等中等教育局長通知「平成27年度使用教科書の採択について」、ならびに同日付け文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「平成27年度使用教科書の採択事務処理について」、及び平成26年4月18日付け大阪府教育委員会教育長通知「義務教育諸学校における平成27年度使用教科用図書の採択について」に基づき、採択の公正確保と静ひつな採択環境の確保に十分留意し、専門的な調査研究活動を行うために、平成26年4月24日、「平成27年度使用学校教育法附則第9条図書の選定に関する事項並びに平成27年度使用摂津市立小学校教科用図書の選定に関する事項」について選定委員会に諮問を行いました。

選定委員会では、諮問を受け全教科・種目の全発行者の教科用図書について調査を行いそれに基づいて教科用図書選定に関する協議を重ねられ、去る7月16日教育委員会に対して答申をご提出いただきました。

答申には、附則第9条関係図書の選定に関すること、見本本が届けられた全種目全発行者の教科用図書の特長、ならびに各種目について複数者の採択候補が記載されておりました。

これらの答申を受け、教育委員会としては、見本本が届けられ

た全種目全発行者の教科用図書、資料提供された調査員報告書、学校意見書、教育研究会意見書や教科書見本本展示会において寄せられた意見等について、教育委員それぞれが事前に目を通した上で、去る7月22日と24日に教科用図書採択に関する学習会を開催し、本市の小学校で平成27年度に使用する教科用図書の採択について、種目ごとに協議を行ってまいりました。

以上がこれまでの議論の経過です。各委員から何か補足はございますか。

全委員

ありません。

委員長

無いようですので議案審議に入ります。まず、平成27年度使用学校教育法附則第9条図書採択の件でございます。平成27年度使用学校教育法附則第9条図書については、現在、市内小学校に附則第9条図書を必要とする児童が在籍していないため、今回、採択は行わないこととしたいと思います。ご意見ございますか。

全委員

異議無し。

委員長

異議無しとのことですので、平成27年度使用学校教育法附則第9条図書については、今回は採択を行わないこととします。

次に、平成27年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書採択の件のうち、平成27年度使用中学校教科用図書についてでございます。教科用図書は基本的に4年ごとに採択替えを行います。中学校教科用図書は前回平成24年度に採択替えが行われましたので、次回は平成28年度が採択替えの年となりますが、採択という手続きは毎年必要となります。従いまして、平成27年度に中学校で使用する教科用図書については、平成26年4月11日付け文部科学省初等中等教育局長通知に基づき、今年度と同様のものを使用することを確認します。ご意見ございますか。

全委員

異議無し。

委員長

異議無しとのことですので、平成27年度使用中学校教科用図書については、今年度と同じものを採択することといたします。

続きまして、平成27年度使用小学校教科用図書についての審議に入ります。

まず、過去2回の学習会で出ました審議内容・意見については私の方からご報告させていただきます。報告の後、本日、改めて皆さん方にご審議いただき、採択について最終的に決定したいと存じます。

国語に関しては、東京書籍・学校図書・三省堂・教育出版・光村図書の5者から見本本が届きました。選定委員会の答申や各委員の意見では、全発行者とも各領域をバランスよく配置し、系統性を配慮した構成となっていました。また、学校図書では各巻末に「保護者の方へ」を設け、内容や目標を示して、家庭との連携から学習が深められるよう工夫がなされていました。さらに三省堂では敬語について、わかりやすい記述がなされ、教育出版では「書く」單元において、ポスターやリーフレットのカラーイラストが豊富で、他教科にも活用できる工夫がなされているなどの特長がございました。

とりわけ、選定委員会から候補として取り上げられた東京書籍と光村図書について、特に多くの意見が出されました。

東京書籍の特長としては、「本は友達」「読書の部屋」などで多数の本を紹介し、子どもの実態に応じて様々な本を選択することができるような工夫がなされていました。また、「読むこと」領域に関わる多くの教材を掲載し、「非連続テキスト」や「情報を収集、吟味するような題材」等、思考力・表現力を育てるような教材が多く扱われていました。

光村図書においては、長年親しまれている教材が多く扱われています。また、学校図書館や書店等でのイラストを多く掲載し、具体的な活動例を示しています。さらに、1年生ではじめて出会う教材「さあ はじめよう」において、教室での子どもたちの生活しているイラストを掲載し、主体的に子どもが「なんていおうかな」と考え、伝えあうような題材を配列しています。

以上、国語の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

山手委員

どの教科書も優れた点があり悩みました。子どもたちが豊富な

文学作品に触れることは重要と思いますので、その点で光村の文学作品は充実しており、深い読みができる作品もそろっていると思います。多くの文学作品に触れることで子どもたちの国語力も向上しますし、感性も培われると思います。総合的に考えて光村図書が良いと思います。

委員長職務代理者

私も、どの教科書も大変優れた教科書だと思いました。私は自学自習という点と、日本の伝統や文化が教科書の中でどのように取り扱われているかという点を重視しておりまして、その点では委員長もおっしゃっていたように三省堂が敬語についてたいへん詳しく載っていたと思います。ただ、自学自習という点においては、子どもたちが主体的に学習に取り組むということで、学校の図書館の活用について具体的に、非常に分かりやすく書かれているのは光村図書だと思いました。子どもたちの自学自習で力がつくように思いました。

委員長

子どもたちがどのように国語と向き合うのかということは、非常に重要なことだと思います。摂津市は今、学力問題が非常に大切で、どのように学力を上げるのかということについて先生方が日々指導に努力されていますが、それに対応できる素晴らしい教科書もたくさんありました。子どもが国語と向き合っ、好きになって、子どもたちが自ら本を読んで楽しめるような教科書が良いと思いました。その点で私は光村図書が様々な教材を取り入れていると思うので、光村図書を推薦します。

教育長

全国学力学習状況調査の国語B問題を見ますと、以前の小学校の国語教科書では対応しきれないような問題が出題されています。今回何十年ぶりに国語の教科書を拝見しまして、どの教科書も、単なる物語文や説明文を載せているのではなく、人の意見をまとめるといったような工夫がなされているので、このような教科書を使ってきちんと指導すれば、そのような力が子どもたちに付くことが期待されると思いました。どの教科書も良いと思いましたが、その中で面白いなと感じたのが光村図書でして、漢字の指導について、字だけではなくて、その漢字を使う場面が想定されており、その場面が目浮かぶと同時に漢字も記憶できるので、

確かなものになると思います。例えば遊園地での人々の行動を文章に書きましようとなり、遊園地で子どもたちが様々な行動をしている絵がありますが、その中に、順序良く並んでいる子どもたちの横に「順序」と書かれていたり、あるいは似顔絵を描いてもらっている横に「似顔絵」とあったりと、イラストと使う漢字とを結び付けて学べるようにしています。これは漢字の一例ですが、このような工夫がされている光村図書が良いと思いました。

委員長

他に意見はございませんか。

それでは採択に入ります。皆様のご意見から、本市の子どもたちにとって主体的に学習を進めることができることは大切です。また入門期の教材をはじめとして、子どもが主体的に考えを深められるような題材、学校図書館の活用を促す工夫がより多くなされている光村図書を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

異議無しとのことですので、国語は光村図書とします。

次に書写にうつります。書写に関しては、東京書籍・学校図書・三省堂・教育出版・光村図書・日本文教出版の6者から見本本が届きました。選定委員会の答申や各委員の意見では、全発行者とも毛筆の道具の扱い方や書くときの姿勢について丁寧に取り扱われている。また、東京書籍は毛筆教材の端に学習事項のインデックスを設けて書きながらポイントがわかるような工夫した紙面構成がなされている。三省堂はどのような書き方が適切であるかを選択肢から選ぶような基礎・基本の定着を大切にした構成、光村図書は手紙・はがき・絵葉書・エアメールなど様々な用紙の書き方を盛りこむ工夫、さらに、日本文教出版は思考力を働かせて学習するための配慮がなされている、などが挙げられておりました。

とりわけ、選定委員会から候補として挙げられた学校図書と教育出版について、特に多くの意見が出されました。

学校図書は、毛筆の手本は半紙原寸大を基本とし、見開きで見やすい構成となっています。

教育出版は、縦4文字の毛筆の手本について半紙原寸大としています。また、「筆圧」「穂先の動き」を朱墨と薄墨で視覚的にと

らえられるような工夫がより多くあり、力の入れ具合がイメージしやすくなっておりました。

以上、書写の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

齊藤委員

書写においても、学習したことを日常生活において活用できる力を身に付けることが大事だと思います。いずれの教科書もそのような観点で取り扱われていますが、教育出版のものは、学校や町の中での文字探しなどに工夫が見られますので、私は教育出版を推薦します。

教育長

私が面白いと思ったのは、学校図書の1年生の教科書で、姿勢と鉛筆の持ち方というページがありまして、どの教科書にも姿勢と鉛筆の持ち方は写真入りで掲載していますが、学校図書は姿勢について歌を唱えて書く準備をしようということで、「足はペタペタ、背筋はピン、お腹と背中にグーひとつ、紙を押さえてさあ書こう」と歌にしており、とても面白いと思いました。他社では三省堂や日本文教出版では合言葉として姿勢のことが書いてあり、1年生が初めて字を書く時に、このような歌などをみんなで歌いながら行くと、子どもたちにも定着しやすいと思いました。

しかし前回までの皆さんの議論を聞きまして、日常生活での関わりや、赤い墨と黒い墨でどこに力を入れて書いたらよいかなどを、より分かりやすくより多く記載している教育出版が良いのではと思います。

最近テレビ番組で、出演者が字を書く場面を見ますと、変わった鉛筆の持ち方をされていることが多く、気になっています。ぜひ小学校の1年生から書写の授業を通じて鉛筆の持ち方、正しい姿勢で字を書くということをきちんと指導してほしいと思います。

委員長

他に意見はございませんか。

それでは採択に入ります。毛筆書写の基礎・基本を確実に定着させることは、様々な学習や生活の中で文字を正しく整えて書くことにつながります。教育出版は毛筆での筆の運びについて、筆

の穂先の動きや力の入れ方をより詳しく説明しています。また、学んだことを日常生活での書くことへ生かす工夫が特になされている教育出版を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは書写は教育出版とします。

では次に社会にうつります。

社会に関しては、東京書籍・教育出版・光村図書・日本文教出版の4者から見本本が届きました。選定委員会の答申や各委員の意見では、全発行者とも問題解決的な学習の流れで学習が展開できるような工夫が十分に行われている。また、領土問題についても全発行者とも十分な記述がなされている。光村図書については、各単元に、本文中の内容をより詳しく説明したコラムが設けられており、わかりやすい。さらに、日本文教出版は紙面全体を使った折込み資料が多く掲載されており興味・関心を高める工夫がなされている、などが挙げられました。

とりわけ、選定委員会から候補として挙げられた東京書籍と教育出版について、特に多くの意見が出ました。

東京書籍は、子どもの学びが広がるような写真やイラストなどの資料が豊富に掲載されています。また、各単元末の「いかす」では、子どもが自力で調べ学習を進めることができるような構成となっています。

教育出版は、災害に強いまちづくりのために防災・減災・減災についての記述が詳しく説明されています。また、小単位ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」を繰り返す構成となっています。

以上、社会の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

山手委員

いろいろな単元がありますが、今は災害についてや防災教育についてよく取り上げています。その中で教育出版の6年生の単元「くらしの中の政治」の中の「緊急支援」で取り上げられている釜石市は本市と防災協定を結んでいるので、子どもたちにとって身近に感じて、関心が深まると思います。そのような点で教育出

版が良いと思います。

委員長職務代理者

どの教科書も大変見やすく、子どもたちの興味関心が高まるように書かれていると思いました。ただ、小学3年生で摂津市の場合は「私たちの摂津」ということでかなりの時間を割いて自分の街について勉強をします。その観点で見ますと、教育出版は自分の街についての勉強についてページがたくさん割かれていますし、子どもたちが「私たちの摂津」を勉強する時にかなり良い材料になると思いました。どの教科書もそれぞれ良かったのですが、私は特にその点が良いと思いましたので、教育出版が良いと思います。

齊藤委員

我が国とトルコとの友好関係の始まりとされるエルトゥール号遭難事件についてですが、以前トルコに行った時に非常に親日家が多いことに気付いたのですが、それはエルトゥール号についてトルコ人は学校で学んでいるからだということを知りました。我が国でも是非、この事を学んで欲しいと思います。選定委員会で候補に選ばれた東京書籍、教育出版いずれもそのことが記載されておりますので、私はいずれの教科書でも良いと思います。

委員長

私もどの教科書も優れていると思いました。それぞれに特長があり、教育出版では「まとめる」というページが各単元にあります。書き込み式で、他の教科書でも同じようなページがありましたが、教育出版が特に、子どもたちにとってわかりやすいまとめ方ではないかと思いました。やはり振り返ることは大切でして、子どもたちが知識を確かなものにするために一度まとめて、そして次に進むことができれば良いと思いました。6年の教科書で震災についての記述があり、どの教科書も多くのページを割いていますが、特に教育出版が子どもたちにとって分かりやすいのではないかと思いました。非常に良くまとめていると思いましたので、教育出版が良いと思います。

他に意見はございませんか。

教育長

皆さんおっしゃっておられたように、どの教科書も工夫されていると私も思いましたが、先程も申し上げましたように久しぶり

に教科書を見まして、縄文時代、弥生時代の遺跡の発掘が進んで、その頃の人々の生活の様子が大分明らかになってきたからでしょうか、見開きのイラストであたかも洛中洛外図のように庶民の活動の様子を描いているのが、どの教科書にも載っていて面白いと思いました。中でも教育出版と東京書籍が折り込みの形にして色んな場面を描いていますので、きっと子どもたちもこのイラストを見ながら、一人ひとりが自分で考えたり気付いた事を発表し合うことで、6年生としての歴史の学びのスタートを上手く切れるのではないかと思いますので、私としては教育出版か東京書籍のどちらかが良いと思います。

委員長

他にはご意見ございませんか。

それでは採択に入ります。東日本大震災を契機に防災教育の充実が求められています。先日も教職員研修の講演会でありましたように、やはり防災教育がとても重要になっています。教育出版「6年下」で取り上げられている釜石市は本市と協定を結んでおり、子どもたちにとって、より身近で、関心が深まる内容が取り扱われています。また、言語活動の充実に向けて、考え合い、表現し合う活動を大切にした構成となっており、問題解決的な学習の流れが、よりわかりやすい構成になっている教育出版を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは社会は教育出版とします。

では次に地図にうつります。地図に関しては東京書籍・帝国書院の2者から見本本が届きました。

選定委員会では東京書籍が候補として挙がりましたが、学習会では、あらためて2者について意見交換を行いました。

東京書籍は、資料・地図が見やすい紙面構成となっています。また、冊子のサイズが大きく、資料を豊富に掲載し、子どもの興味・関心を高められるような工夫がなされていました。

帝国書院は、美しい地図表現がなされ、見やすい地図への配慮がなされています。

以上、地図の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見を
お願いします。

齊藤委員

東京書籍のものは冊子のサイズが大きく、くっきりした色使い
で、だれにでも良く分かる、見やすい地図になっているという点
で、私は東京書籍を推薦します。

委員長職務代理者

私も東京書籍の方がよいと思いました。理由は、資料が大変豊
富で、子どもたちが興味関心を持てるような構成になっていて、
地図帳を見ていると何か物語を読むような広がりがある地図帳
になっています。子どもたちの自学自習という観点からも興味・
関心が広がっていく地図帳であると感じましたので、東京書籍を
推薦したいです。

委員長

私も2冊とも拝見しましたが、東京書籍の方が資料が豊富で、
写真も素晴らしいです。例えば東京の様子でもこのようにはっき
りと見えます。地図帳というのは授業で何ページを見てください
ということで見ることありますが、地図の好きな子どもは絶え
ず見て、自分でいろいろ探します。このような事があると、主体
的に学んでいくと思います。もちろん帝国書院の地図は非常に美
しくて良いのですが、プラスアルファのある東京書籍の方が見て
いていろいろと想像力も掻き立てられますので、子どもたちがま
すます自分から学んでいくようになるのではと思いました。ただ、
少し大きいのでその分重くなるのが心配なのですが、それを差し
引いても良いと思いましたので、東京書籍が良いと思います。

教育長

この2つの地図は、委員長がおっしゃるよう大きさが違いま
すが、一つ一つの地図は、例えば近畿地方の地図はどちらもほぼ
同じ部分が描かれています。そうしますと判の大きな方が大きな
字になり、小さな判ですと文字が見づらく地名等の情報が細かく
書かれていますので、しっかりと見ることのできる大判の地図の
方が、小学生にとっては見やすいのではと思います。色使いは両
者異なりますが、これは好みの問題もありこの点でどちらが良い
とは言えませんが、大きな判で文字の間隔も空いていてしっかり
見ることのできる東京書籍の地図帳の方が良いと思いました。

委員長

それでは採択に入ります。東京書籍は冊子が大きく、くっきりとした色使いなので、子どもにとって資料・地図の両方が読み取りやすい。また、資料が豊富なので、子どもが初めて手にする地図帳として、より興味・関心が高められるような工夫がなされている東京書籍を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは地図は東京書籍とします。

では次に算数にうつります。算数に関しては、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館・日本文教出版の6者の見本本が届きました。選定委員会の答申や各委員の意見では、全発行者とも問題解決的な学習の流れをわかりやすく示されている。大日本図書では考えを表現するスペースやノート貼り付け用の図を付録として用意し、自分の考えを表現する工夫がなされている。学校図書では算数でよく使う考え方を掲載し、問題解決の手立てとしている。啓林館では思考力・判断力・表現力を育む問題を多数、配列している。日本文教出版では基礎的・基本的な内容に十分なページ数をとっている、などが挙げられておりました。

とりわけ、選定委員会から候補として挙げられた東京書籍、教育出版及び学校図書について、特に多くの意見が出されました。

東京書籍は目次の単元の左右にそれぞれ「前の学習」「後の学習」を示して、前後の学習のつながりが児童にわかるように工夫がなされています。また、各単元の導入では「おぼえているかな？」のページを設け、次の学習につながる既習事項についての確認するための問題が配列されています。また、巻末には「算数自習コーナー」を設け、個々の学び直しや自学自習の学習習慣を身につけるための工夫がなされています。

学校図書は、つまずきやすい内容について巻末に「サポート」ページを設けるなど、どの子にとっても理解しやすいスモールステップの構成となっています。

教育出版は、「算数で使いたい考え方」として、子どもの言葉で数学的な考え方の流れを示し、以降の学習で活用できるような工夫がなされています。

以上、算数の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見を
お願いします。

委員長

どれも素晴らしい教科書で、各教科書の終わりにはまとめが載
っており、力試しもたくさん載っていました。東京書籍は必ず単
元のはじめに今まで学習したことの振り返りがあります。子ども
たちに「今日からこれを学びますよ」という時に、既習事項の振
り返りがあると導入しやすいのではと思います。もちろん先生は
授業で振り返りをされるでしょうが、このように教科書にありま
すと特に子どもたちにとって入りやすいのではと思います。また、
興味をそそるように、例えば「かたちが同じものはどれ」といっ
たものを分かりやすく載せています。以前何を学習したかをチェ
ックすることは非常に重要で、系統的に学習することは大事な
ので、前後の学習のつながりが子どもたちに分かりやすいのは東京
書籍だと思いました。

山手委員

どの教科書も良くできていて選ぶのが難しいのですが、私はノ
ート指導について各教科書を見ました。東京書籍では「算数マイ
ノートをつくろう」、教育出版では「友だちのノートを見てみよう」
において、両者において丁寧に説明がされていたので、この
2者のどちらかが良いと思います。

委員長

学校の授業研究でも、ノート指導に力を入れている学校が多い
ですね。他にご意見ございますか。

委員長職務代理者

自学自習力の育成というのは大きな課題です。東京書籍は「自
学自習コーナー」が巻末に設けられていまして、そこには「おも
しろ問題」や「ふりかえりコーナー」という、子どもの実態に応
じて学べるようになっており、自学自習ができる工夫がされてい
ます。その点で、私は東京書籍が良いと思います。

教育長

前回の学習会の時から、なぜこれがここにあるのかと気になっ
ていたのですが、東京書籍の6年生算数の10ページあたりから
ページの右上に図があります。何枚かめくると続けて図が描いて
あり、これはパラパラ漫画で点対称の図形を回転させると重なる

ということを表していて、ちょっとした遊び心が面白いなと思いました。こんな所にありますと、子どもたちは教科書にどんどんパラパラ漫画を落書きしてしまうかもしれませんが、今ICTが盛んに勧められてきて、アニメーション機能を利用してこのような回転体や軌跡を小中学校で教えると、子どもたちの理解も進むのではと思いますので、一つの工夫として東京書籍のこのような取り組みを面白いと思います。

委員長

どの教科書も素晴らしいのですが、最終的にはこの教科書を使って先生方が授業をする時に、教科書の良さを活かした授業をして欲しいと思います。

それでは採択に入ります。子どもたちが算数を勉強するうえで、学びの系統性を意識して学習することは非常に大切です。学習単元の前後のつながりを示す工夫がなされ、さらに家庭学習習慣を身につけるための工夫がなされている東京書籍を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは算数は東京書籍とします。

では次に理科にうつります。理科に関しては、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館の5者の見本本が届きました。選定委員会の答申や各委員の意見では、全発行者とも学習した内容が実社会、実生活で生きて使われていることを認識し、有用性を実感できるような構成になっている。大日本図書では4年生では星空に重ね合わせられるフィルムシートがあるなど、理科への興味・関心が高められるように工夫がなされている。学校図書では自由研究について詳しい記述がある。教育出版では各単元末の「たしかめ」で学習を振り返ることができるようになっている、などが挙げられておりました。

とりわけ、選定委員会から候補として挙げられた東京書籍、啓林館について、特に多くの意見が出されました。

東京書籍は巻末資料では観察、実験の際の基礎技能をまとめて掲載し、必要な時にすぐに確認できるような構成になっています。

啓林館は、「科学の目で見てみよう」で具体的な研究例などをも

とに、科学的に考える力を育てる工夫がなされています。また、実験の内容を詳しく丁寧に取り扱い、また、安全性への配慮も十分取り扱われておりました。

算数科の学習内容との関連については両者ともていねいに示されていました。

以上、理科の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

山手委員

学習会でもそれぞれの教科書の良い点が挙げられましたが、今、子どもたちの理科離れが言われており、最初の目次のページに子どもたちに見てみようと思わせるワクワク感があるかという点で見ました。啓林館の目次には写真で、その単元がどのようなことをするのかをイメージしており、例えば「植物の発芽と成長」という単元では、ちょうど芽を出した植物の写真が載ってしまして、他の教科書も目次に写真がありますが、きっと子どもたちはこれを見てやってみようというワクワク感と興味を持つのではないかと思います。啓林館を推薦したいです。

齊藤委員

実験・観察等において安全教育は非常に大事だと思います。それについてはいずれの出版社のものも記載されていますが、より丁寧にという観点では啓林館が良いのではと思います。また、啓林館の別冊「わくわく理科プラス」は、振り返りに非常に良いと思いますので、私は啓林館を推薦します。

委員長

別冊があるのは啓林館だけですね。私は授業で使う別冊ではなくて、これを見ながら子どもたちが興味関心を高めるような内容だと思いました。

教育長

以前と比べてどの教科書も、小学校の理科の内容が充実しており、単にカラー写真や図がたくさん入っているというのではなくて、なぜそうなるのかという説明が充実して書かれていると思いました。ただ、教育出版の人体の図を拡大しているのはインパクトがありますし面白いと思いますが、正直に申し上げますと、この図をここまで大きくする必要があるのかなと、これが普通サイ

ズでも十分に説明できますし、今はICTやHPもありますので、教科書にこれだけの大きなものを載せるというのは、どうかと思います。

理科で教えてもらいたいのは理科的な考え方で、それを子どもたちに学んで欲しいと思っていて、その観点では啓林館の6年生の教科書の76ページの「科学の目で見てみよう」に、「みんなが納得する実験にするには」というものが見開きであり、意味のある実験や対照実験というものを、蟻が砂糖に寄って行くのか、鯉節に寄って行くのかという実験を例に説明しています。ただ単に砂糖と鯉節で蟻が砂糖に行くからといって、だから蟻は甘いものが好きなのだという結論は、それだけではできない。砂糖と鯉節では色や形が違うので、もしかしたら甘いから砂糖に行くのではなくて、白い粉だから砂糖に行くのではないかということで、ちゃんとした実験にするためには単に砂糖と鯉節だけではなくてそれぞれの特徴を持った、白くて甘くないパン粉も用意して実験をしないと本当の納得する実験にはならないということを記載しています。このような事は授業の中で教員がやろうとしてもなかなか教科書に載っていないことを子どもたちに説明しにくいことがありますので、このような事をきちんと載せているということで、私は理科の教科書は是非とも啓林館をお願いしたいです。

委員長 このような考え方は中学校の理科に繋がっていくことでしょうか。

教育長 はい、私は以前中学校で理科を教えていましたので、このようなきちんとした考え方というものを小学校時代から身に付けてもらうことは、中学校の理科教育でも非常に有益だと思います。

委員長 その他の教科書について出ている意見も紹介いたします。学校図書の表紙についてですが、理科の功績のある人物を載せていて、非常に魅力的な表紙です。子どもたちも知っているアインシュタインもありますが、これ誰だろうという人も載っていますので、その意味では子どもたちの興味を誘いやすく、今後の授業などでその人の業績について触れたときに、この人知っているというとその後に繋がりやすいという点で非常に良いというご意見

がありました。

他に意見はございませんか。

様々な意見が出ましたが、採択に入ります。安全についての取扱い（実験・観察、理科室の使い方）が特に丁寧にわかりやすく示されているのは啓林館です。また、啓林館は先ほど教育長もおっしゃったように科学的な思考力、判断力、表現力が身につくような工夫が特になされています。この力は実生活の中で、事実をもとに論理的に考える力にもつながり本市の子どもたちにもぜひ、つけてほしい力です。よって、啓林館を採択したいと思えますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは理科は啓林館とします。

では次に生活にうつります。生活に関しては、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・光村図書・啓林館・日本文教出版の7者の見本本が届きました。

選定委員会の答申や各委員の意見では、東京書籍ではタイトルが学習のめあてになっている。大日本図書では単元のめあてを葉の上に表示し、葉の色が季節によって変化しており、イメージが深まる工夫がなされている。学校図書では記録のまとめ方が工夫されている。啓林館の「いきいき」では動植物について大きな写真を取り入れるなど自然への興味・関心を高める配列となっている、などが挙げられておりました。

とりわけ、選定委員会から候補として挙げられた教育出版、光村図書及び日本文教出版について、特に多くの意見が出されました。

教育出版は、在来種（日本の固有種）を守ることに對して配慮する記述があります。

光村図書は、挿絵の吹き出しを多く用いて、世話をする動物と交流する様子なども大きな写真で掲載し学習活動を効果的に進められるよう配慮がなされています。

日本文教出版は、「いいところみつけた」では自分だけでなくまわりの友達のいいところをさがす活動を盛り込むなど道徳との関連も大切にしています。また、外国人の子どもと活動する写真を

載せたり、点字に直接ふれることができるなど人権に関する配慮がなされています。

以上、生活の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

齊藤委員

低学年の子どもたちにとって五感を伴った体験活動は大事だと思います。学習会で取り上げられた中で日本文教出版のものは、「季節と友達」というコーナーで季節によって草や花の匂いをかいだり、あるいは落ち葉に触ったりなどをして季節を感じる体験をさせるようになっています。このような点から、私は日本文教出版を推薦します。

山手委員

私も、どの教科書も良いと思いましたが、日本文教出版が特に良いと思いました。と申しますのも、最近では国際化ということで、たくさんの外国にルーツをもつ子どもが日本に暮らしていらして、摂津市でもたくさんの国から外国にルーツをもつ子どもが来ており、学校に通っています。そのような観点から日本文教出版は、イラストや写真に外国にルーツをもつような子どもたちを取り上げており、ごく自然に共生社会というものに、子どもたちが生活の授業を通じて理解していけるのではと思いました。このことから日本文教出版が良いと思いました。

齊藤委員

国際的なイラストですね。

山手委員

パッと見ただけでは外国にルーツのある子どもとは分かりにくいのですが、教科書「上」の2ページ、3ページに登場する子どもたちの紹介があり、名前も工夫されています。そのほかのイラストや写真も、国際化している今の日本の姿をごく自然な形で表現されていると思います。

委員長

アメリカの子ども番組ですと必ずいろんなルーツの子どもが登場していますし、車いすの子どもも自然に入っていますよね。日本もそうようになってきているのかなと、この教科書を見て改めて思いました。

山手委員

ルーツの異なる子どもたちが、違和感なく触れ合っているイラストが掲載されています。

委員長

そうですね、12、13ページでは子どもたちが自然に肩を組んで交流していますね。

どの教科書も非常に良くできていて、子どもたちが見ていろいろな事を考えてくれるなと思いました。

他に意見はございませんか。

それでは採択に入ります。低学年の子どもたちにとって、齊藤委員がおっしゃったように草や花のにおいをかいだり、落ち葉に触ったり、あるいは一番後ろに載っている点字に実際に触れるような五感をともなった具体的な体験は非常に大切です。これらの体験は自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつという生活科のめあてにもつながります。体験活動や身近な人々とのかかわりをより重視している日本文教出版を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは生活は日本文教出版とします。

では次に音楽にうつります。音楽に関しては、教育出版・教育芸術社の2者の見本本が届きました。

選定委員会では教育出版が候補としてありましたが、学習会では、あらためて2者について意見交換を行いました。

教育出版は、日本の歌についての写真が大きく鮮明で、より歌へのイメージをふくらますことができる工夫がなされています。また、透明シートや両開きの折り込みページを設定するなどの工夫で子どもがより主体的に学習に取り組むのではないかという意見がありました。

教育芸術社は、裏表紙に音楽文化に触れる、まつりの写真が掲載され、我が国の音楽文化に親しめるよう配慮されておりました。

以上、音楽の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

齊藤委員

私は教育出版を推薦します。その理由として、例えば3年生の教科書では、富士山が折り込みのページに大きく入れられ、子どもたちに非常に興味・関心を持たせるものと考えます。また、楽譜の話のところでは透明シートを入れて自分の理解度を分かりやすくするといった工夫が随所に見られます。

委員長職務代理者

私は冒頭にも申し上げましたが、我が国の伝統や文化についてと自学自習力という観点で教科書を見ております。音楽については国歌君が代についてどのような扱いをしているかということを見ました。教育出版は君が代のページは紙の質を分厚くしてすぐに開くことができるようになっていますが、いろいろな曲の間にあります。教育芸術社については見開きの一番最後で、パッと開いたところに君が代が載っています。どちらが良いのかなということですが、私は君が代という曲はやはり他の曲とは違う特別な意味合いを持った曲だと思しますので、やはり見開きの最後にある方が良いのではと思います。また裏表紙に教育芸術者はまつりと楽器ということで、日本の伝統や文化も紹介しています。教育出版の方も日本の伝統や文化についてのページがありましたが、子どもが手に取った時にそのまま見ることでできる形の教育芸術社の方を推薦したいです。

教育長

今、委員長職務代理者からご意見のありましたように、国歌君が代は学習指導要領の中で、小学校の音楽の授業で歌えるように指導するものとなっておりますので、きちんと歌えるように各学校で指導が必要と思います。その意味で、君が代の取り扱いは丁寧をお願いしたいと思います。確かに教育芸術社の方が見開きの一番後ろに載っていることから位置は明らかですが、この位置で1ページに記載されています。それに対して教育出版は、見開きの一番後ろは日本の童謡的な歌を載せており、そこから前に2枚折り込みが入り、その前に君が代を載せていまして、これはどの学年の教科書も同じ位置に載せており、一番後ろではないにせよ一定の場所に載せています。しかも見開きのページに書かれていることで、決して教育出版の方が君が代に対しての丁寧さに欠けるというものではないと思います。

また、「赤とんぼ」や「こいのぼり」といった日本の歌を子ども

たちに歌ってもらう時に、例えば「こいのぼり」の歌詞で「薨（いらか）の波」とありますが、子どもたちにとっては薨の意味が多分、分からないと思います。教育出版では歌詞の意味を説明しており、例えば折り込みを使って屋根の様子を載せて薨が瓦であると記載してあったり、「赤とんぼ」についても夕焼けの様子イラストが見開きであり、この歌が歌われたであろう頃の田舎の雰囲気を表しており、歌を歌う時の背景も子どもには想像しやすいのではないかと思いますので、私としては教育出版の教科書で子どもたちが学んで欲しいと思います。

委員長

どちらも君が代はきちんと扱っていますし、いろいろな工夫がされていると思います。

他に意見はございませんか。

それでは採択に入ります。日本の歌について、日本の自然、原風景などを大きく掲載し、写真からふくらませることができる歌へのイメージを持って表現活動を行う工夫や、子どもの興味・関心を高める工夫が特になされており、君が代の扱いも丁寧になされている教育出版を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは音楽は教育出版とします。

では次に図画工作にうつります。図画工作に関しては、開隆堂・日本文教出版の2者の見本本が届きました。

選定委員会では日本文教出版が候補としてあがりましたが、学習会ではあらためて2者について意見交換を行いました。

開隆堂は、作品例が大きく掲載され、配色や構図にインパクトがあり、児童の興味・関心が高まる工夫がなされています。

日本文教出版は、学習のめあてが4つの観点ごとに明示され、作業の手順が丁寧に示され、児童にとって理解しやすい構成となっていました。

以上、図画工作の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

委員長職務代理者	<p>この頃は子どもたちが道具を使うということが少なくなっていると思います。パソコンを使うというのがありますが、鑿（のみ）や鋸（のこぎり）というような道具を使って何かをする機会が非常に減っています。その点で、多くの材料・用具についての資料や説明が丁寧で豊富であるのは日本文教出版だと思います。巻末部分にたくさんの資料や用具の使い方が載っているので、日本文教出版を推薦したいです。</p>
山手委員	<p>私も日本文教出版を推薦したいです。両方とも素晴らしい教科書に出来上がっていますが、子どもが作品を作成しているところの写真をたくさん取り上げているのは日本文教出版だと思います。</p> <p>図画工作というのは上手な子も下手な子もいますが、作品の出来栄もさることながらその過程をいかに楽しめるか、充実感を得ながらできるかというのが大事な教科だと思います。その意味では子どもたちの作っている過程がたくさん載っているほうが、作品を作り出す喜びを味わうことにつながるとと思います。</p>
委員長	<p>そうですね、作品だけを載せるのではないですね。</p>
山手委員	<p>苦手な子にも分かりやすいのかなと思います。</p>
委員長	<p>どちらの教科書も本当に力強い作品がたくさん載ってしまし、作品自体ではどちらが良いとは言えないと思います。</p> <p>他に意見はございませんか。</p> <p>それでは採択に入ります。日本文教出版は多くの材料・用具を取扱い、その使い方についても丁寧に説明がなされています。また、子どもが作品を作成している写真を多く掲載しているので作品が完成するまでの流れを的確に把握することができます。作品が完成するまでの流れを理解することは作品を作り出す喜びを味わうことにもつながります。よって日本文教出版を採択したいと思いますがいかがですか。</p>
全委員	<p>異議無し。</p>

委員長

それでは図画工作は日本文教出版とします。

では次に家庭にうつります。家庭に関しましては、東京書籍・開隆堂の2者の見本本が届きました。

選定委員会では開隆堂が候補としてあがりましたが、学習会ではあらためて2者について意見交換を行いました。

全発行者とも、日本の伝統的な生活文化に関わる内容については工夫された記述を設けています。

東京書籍は、「成長の記録」を設け、児童ができるようになったことを実感できるような工夫がなされています。

開隆堂は、作品例、写真が豊富で実習の手順がイメージしやすく、また、料理の後片付けについても詳細な説明が掲載されており、子どもが実生活にいかす工夫がなされています。

以上、家庭の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

委員長職務代理者

私は何度も申し上げますが、日本の伝統や文化について着目しておりますが、両者とも地方の伝統食や伝統食のある地域のおせち料理についてたくさん載っていました。その観点からも、他にもいろいろ見ましたが、どちらか決めかねている状態ですので、委員の皆様のご意見を伺いたいです。

委員長

東京書籍の方では34ページに、開隆堂では51ページに同じように載っていますね。

委員長職務代理者

同じくらいたくさん載っていますね。

委員長

そうですね。私の意見ですが、子どもたちにとって教科書は授業でも使いますし、喜んで見るのは調理実習のページだと思います。先生も教科書に沿って調理実習の説明をされると思います。そこで調理実習については、開隆堂の方が詳しく記載しております。まずは計画を立てて、準備して、調理して、試食して、後片付けをして振り返るところまで載っています。それと後片付けですが14ページには包丁を洗って水気を取ったり、ガスコンロを拭くや、ガスの元栓を閉めるといったように、ここまで丁寧に書

かれているのは素晴らしいと思いました。多分子どもたちは学校で実習をした後に家でも習ったことを作ると思いますが、家族に食べてもらって終わりではなくて、最後まで片づけて本当の終わりというのが、この教科書を見て分かるのではないかと思います。

山手委員

私も主婦の立場ですので、調理のことを見ますと、今の委員長のご意見に加えて、例えば開隆堂の14ページのフライパンについて、そのまま水洗いすると水を汚すことになるという、環境に配慮した片づけ方が載っていますし、計画を立てる時の手順でも、食物アレルギーの確認という一文も入っており、実習にあたっての安全や衛生、環境、その他アレルギーなどへの配慮がより具体的に書かれていまして、子どもたちは文章と写真を見て、なるほどなと良く分かりますと思います。その意味では開隆堂が良いと思います。

もちろん両方とも良い教科書になっておりまして、私などはこの教科書を使ってもう一度勉強したいような気にさせられましたので、本当に良くできていると思いました。

教育長

私も、子どもたちが楽しみにしているのは調理実習だと思います。「ご飯とみそ汁を作ろう」というのが両方とも載っていますが、開隆堂では46ページにご飯の炊き方が載っており、東京書籍では30ページになります。これはどちらも写真が載っていますが、次のみそ汁の作り方は、開隆堂は写真ですが、東京書籍はイラストになっています。イラストにされた理由はあるのですが、やはり今はネット上で写真入りの調理方法がたくさんあるので、子どもたちにとってはイラストより写真の方が分かりやすいのではないかと思います。今はみそ汁の例を挙げましたが、他にも青菜を茹でるところも、開隆堂は写真ですが東京書籍はイラストとなっているところで、私としましては今の子どもたちにあった形ではカラー写真がたくさん使われている方ではないかと思います。

委員長

他に意見はございませんか。

それでは採択に入ります。作品例、写真が豊富で実習の手順が

イメージしやすく、また、安全や衛生、環境に関する配慮がより具体的に説明されているのは開隆堂です。また、具体的な説明があるので、子どもたちは学習したことを実生活に活かしやすい開隆堂を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは家庭は開隆堂とします。

では次に保健にうつります。保健に関しましては、東京書籍・大日本図書・文教社・光文書院・学研の5者の見本本が届きました。喫煙・飲酒・薬物乱用については、どの者も取り扱い、児童が考える工夫がされておりました。

選定委員会の答申や各委員の意見では、大日本図書ではチェックシートなどを使い、児童の生活と重ね合わせて考えられるようになっている。文教社では全体を通して内容説明がとても丁寧である。光文書院ではMDMA、覚せい剤などが写真でわかりやすく提示されている、などが挙げられておりました。

5者について検討する中、選定委員会から候補のあがった、版が大きく、資料も豊かであり、書き込みできる欄も多く設定されている東京書籍と学研について、特に意見交換を行いました。

東京書籍は、自分の生活を振り返り、話し合いながら理解を深める構成になっており、課題解決の力を育てる構成になっています。

学研は、喫煙・飲酒・薬物乱用について写真や資料が詳しく掲載されています。また、書き込み欄も多く、教科書サイズが大判のためとても書きやすい紙面構成になっています。また、体験談や具体例をたくさん掲載し、子どもの主体的な学びを育てる工夫がなされています。

以上、保健の学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

委員長職務代理者

私は学研を推薦したいです。今もお話がありましたが、学研は具体例や体験談が豊富に載っています。子どもたちは、子どもとはいえ健康に対して非常に関心が高くなっている時期に、体験談

や具体例が載っている教科書を家で見て、自学自習する力が付くのではないかと思いました。

委員長

保健の教科書はどれも丁寧に説明がされていると思いました。特に子どもたちが体の変化を迎える時期には自分でいろいろ見るのではないかと思いました。その意味ではどの教科書も丁寧に説明があり良かったのです。

学研は、先程委員長職務代理者がおっしゃったように、体験談が豊富に載っているのは子どもたちが不安になった時の励みになるのではないかと感じました。もちろん、体験談を取り扱っているのは他の教科書にもありました。また、学研は一つの事に対して必ず見開きで分かりやすく説明しているのが良いと思いました。判が大きいのもパッと見て書き込みがしやすく、授業でも扱いやすいのではないかと思いました。この点でも良いと感じました。

他に意見はございませんか。

教育長

私は大判の教科書は重くなりますが、やはり見やすさの点で大判の学研が良いのではと思います。

今は小学生から生活習慣病の話もありまして、東京書籍は子どもを対象とした生活習慣病の予防について取り上げています。学研をはじめほとんどの教科書は、生活習慣病の予防については大人を対象とした説明となっていますが、東京書籍では37ページに「下の絵のような生活を続けている友達がいたら、どんなことが起こりますか」ということで、ポテトチップスやカップ麺、ジュースやケーキといったものを食べている子どもの様子がイラストで描かれていまして、生活習慣病の予防を子どもたちに考えさせる機会を与えています。

ただ、全体的に考えますと、学研の方が大判で見やすいと思いますので、学校の指導の中で是非、東京書籍のような取り上げ方をしていただき、生活習慣病については子どもたちが日常生活の中で見直すようにしていただけたらと思います。

委員長

他にご意見ございませんか。

それでは採択に入ります。本市の子どもが学校の授業で学習し

た内容を家庭でも振り返り、自らの健康課題を改善することができる学研を採択したいと思いますがいかがですか。

全委員

異議無し。

委員長

それでは保健は学研とします。
他にご意見等がありますか。

委員長職務代理者

私は今回、教科書採択にあたりすべての教科書を拝見しました。また、他の委員と共に何時間も学習会に参加して勉強させていただきました。その中で、各教科書とも各領域の中で日本の伝統や文化についての扱いがもう少し多くならないかなと思いました。日本で暮らす摂津の子どもたちが、このような伝統や文化が日本にあって、自国に対しての誇りを持てるようなところがもう少しあればと、感想として持ちました。

委員長

載っているには載っていますが。

委員長職務代理者

はい、載ってはいるのですが、もう少し扱いを増やしてほしいとの思いです。採択には直接の関係は無いのですが、全ての教科書を見た感想です。

委員長

今回見本本を全部見させていただいて、どの教科書も素晴らしく、私が子どもに使用した教科書と全然違い、カラーになり、国語の教科書でもたくさんの写真やイラストを使っており、想像力を掻き立てるような素晴らしいものが多かったです。ページ数も増えていて、紙も良いものを使っていますので、非常に重たくなっています。私の子どもは今中学生ですが、小学生の時に、ランドセルが重たいと言っていました。小学校では教科書を学校に残してはいけなくて、全て持ち帰らなければならなかったのも、小学生にしては教科書が重たいのかなと思うことがありました。できましたらこの素晴らしい教科書の内容のままで、もう少し軽量化されたらもっと良いのになと思います。今後はタブレットになるのではないかという方向性も示されていますが、それはどうなるか分かりません。タブレットになったものの使いづら

いのでやはり紙に戻るかもしれない。あるいは家で予習をするのが前提でのタブレットの導入の場合は、摂津市の子どもにはまだ早いかと思いますので、紙の教科書となります。もう少し軽いと、必ず家に持って帰りますので、それを家で開く、そして学習に対してもっと主体的になると思います。是非教科書の軽量化を図っていただきたいです。

他に、全体をとおしてご意見や感想はございますか。

では意見が出尽くし、採択候補が出そろいましたので、私より確認させていただきます。

平成27年度使用小学校教科用図書は、国語は光村図書出版株式会社、書写は教育出版株式会社、社会は教育出版株式会社、地図は東京書籍株式会社、算数は東京書籍株式会社、理科は株式会社新興出版社啓林館、生活は日本文教出版株式会社、音楽は教育出版株式会社、図画工作は日本文教出版株式会社、家庭は開隆堂出版株式会社、保健は株式会社学研教育みらい、です。

何か質問等はございますか。

無いようでしたら、平成27年度使用小学校教科用図書についての審議を終了します。

次世代育成部次長
兼教育センター長

今後の情報公開について確認をいたします。教科用図書採択事務に関することについては一定期間、具体的には文部科学省の示す採択期間である8月31日まで非公開ということで進めてまいりましたが、本日の採択に係る審議を公開といたしましたので、採択結果のみ直ちに公開し、議事録等については整えた上で、9月1日以降に公開したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長

異議はございますか。

全委員

異議無し。

委員長

異議無しという事ですので、そのようにお願いいたします。
これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これをもちまして本日の臨時教育委員会会議を終了いたします。皆様ご苦勞でした。